

キーパー財務 15 (Ver7.0.4) 主な変更点

■2015年(平成27年)10月施行の消費税改正に対応しました。

2015年(平成27年)10月1日より、海外から日本へのインターネットを通じた電子書籍や音楽等のデジタルコンテンツの提供等、国境を越えた役務の提供に係る消費税の課税関係が見直されました。

消費税法では、課税資産の譲渡等を行った事業者が申告・納税を行うこととされていますが、「事業者向け電気通信利用役務の提供」については、国外事業者から当該役務の提供を受けた国内事業者が申告・納税を行う、いわゆる「リバースチャージ方式」が導入されることになりました。

国内において国外事業者から受けた「事業者向け電気通信利用役務の提供」及び「特定役務の提供」を「特定課税仕入れ」といい、この「特定課税仕入れ」がリバースチャージ方式による申告の対象となります。(但し、経過措置により当分の間は、一般課税で申告する課税売上割合 95%未満の事業者のみ申告が必要とされています。)

この改正を受け【キーパー財務15 Ver7.0.4】ではプログラムに以下の変更を加えております。

【消費税区分の追加】

特定課税仕入れ用の消費税区分を新設しました。

コード	分類	消費税区分
551	仕入	課税売上対応特定課税仕入れ
552	仕入	共通売上対応特定課税仕入れ
553	仕入	非課税売上対応特定課税仕入れ
551	仕入	課税売上対応課税仕入れ返還
562	仕入	共通売上対応課税仕入れ返還
563	仕入	非課税売上対応課税仕入れ返還
571	仕入	課税売上対応課税輸入返還
572	仕入	共通売上対応課税輸入返還
573	仕入	非課税売上対応課税輸入返還
581	仕入	課税売上対応特定課税仕入れ返還
582	仕入	共通売上対応特定課税仕入れ返還
583	仕入	非課税売上対応特定課税仕入れ返還
810	販受	売上

【仕訳例】

特定課税仕入れに該当する取引があった場合は以下のように入力します。

日付	借方科目				貸方科目				金額
証憑	コード	名称	部門	税	コード	名称	部門	税	消費税
27/10/01	6103	広告宣伝費		551	1101	現金		810	800,000
				8					-

原則課税で集計した結果、課税売上割合 95%未満の場合はリバースチャージ方式により申告書を作成します。

原則課税で課税売上割合 95%以上の場合や簡易課税の場合は従来通りに集計して申告書等作成します。(特定課税仕入れ用の消費税区分は「810:課税対象外・不課税」と同等に取り扱います。)

【申告書等の様式】

特定課税仕入れにより消費税申告書・付表の様式変更、及び新たに追加された「特定課税仕入れがある場合の課税標準額等の内訳書」に対応しました。

尚、「特定課税仕入れがある場合の課税標準額等の内訳書」は「申告書(一般)」の2ページ目として印刷されます。

印刷設定

用紙選択: 白紙 OCR用紙

帳票選択: 申告書(一般)

整理番号を印刷する

課税売上割合95%未満で、特定課税仕入れ用の消費税コードの仕訳があると、2ページ目に「特定課税仕入れがある場合の課税標準額等の内訳書」を出力します。

申告書(一般)を印刷する

中間前日額を印刷する

付表1

付表2

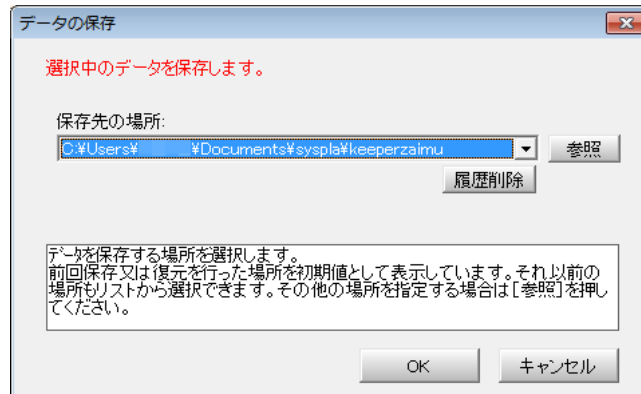
付表2-(2)

還付申告に関する明細書

キーパー財務 15 (Ver7.0.4) その他の変更点

●ファイルー データ選択

- ☑ 「F6:保存」と「F7:復元」で、「保存先の場所」の履歴が削除できるようになりました。(前々回以前の履歴を削除します。)



●ファイルー 環境設定

- ☑ 「入力設定」タブにの「仕訳入力時の日付カーソル位置」を追加しました。仕訳日付の入力は、これまで必ず“日”からでしたが、この項目追加により“月”から入力することもできるようになりました。
- ☑ 「印刷設定(帳票)」タブに「2期比較タイトル」を追加しました。([日常処理ー合計残高試算表]の印刷に反映させるには「試算表のタイトルを変更する」へのチェックも必要です。)

●日常処理ー 仕訳入力

- ☑ 年月日の入力は、これまで必ず“日”からの入力でしたが、[環境設定]での設定により“月”から入力することもできるようになりました。
- ☑ 入力済み仕訳を選択した状態で「F4:一括登録」を押下して一括入力辞書を登録・参照した場合、一括入力辞書画面を閉じた後のカーソル位置が入力枠の日付欄になるよう仕様を変更しました。
- ☑ 「F4:一括入力」で入力した場合、次の仕訳のカーソル位置は必ず日付欄の“日”を全選択した状態(但し、[環境設定]で指定した場合は“月”)になるよう仕様を変更しました。
- ☑ 連想摘要(取引先)辞書のみF3キーが「修正」だったので、他の画面と同様に「F3:編集」に変更しました。

●日常処理ー 仕訳入力 ・ 仕訳帳

- ☑ F9で元帳、F10で試算表を開くことができるようになりました。(ボタンの割り当てはありません。ファンクションキーを押してください。)

● 日常処理－ 仕訳帳 ・ 仕訳モニター ・ 総勘定元帳

- ☑ 摘要又は取引先が空白の仕訳を検索することができるようになりました。

● 日常処理－ 総勘定元帳

- ☑ F9で仕訳帳、F10で試算表を開くことができるようになりました。(ボタンの割り当てはありません。ファンクションキーを押してください。)
- ☑ 「印刷設定」で「月毎に改ページする」にチェックした場合、選択した期間が年をまたぐと1月以降の元帳の見出しに前年が印字されていたので修正しました。
- ☑ 期末日の仕訳と通期決算仕訳の両方が入力されている状態(会計期間が4/1～3/31の場合は3/31の通常仕訳と3/31の決算仕訳の両方が入力されている状態)で、“決”を含む期間を指定して元帳を印刷すると、期末日の最終行の残高欄が印字されなくなっていたので修正しました。
- ☑ 過年度元帳で決算月だけを指定して印刷/プレビューを行った場合、決算整理前残高が0円だと1行目の「繰越残高」行が決算月の前月末残高になっていたのを修正しました。

● 日常処理－ 合計残高試算表

- ☑ [環境設定]で2期比較試算表の印刷物のタイトルが指定できるようになりました。

● 決算処理－ キャッシュフロー計算書

- ☑ 行間を広げ、印刷物の見栄えを向上させました。

● 決算処理－ 一括印刷

- ☑ 「試算表」で「残高0円の印刷:印刷しない」に設定した場合は補助リストも0円の行を省略して印刷するよう仕様を変更しました。

● 決算処理－ 繰越残高調整

- ☑ 当期と前期で「貸借区分」が異なる科目があると、その科目についてのみ正しく残高調整ができなくなっていたので修正しました。

●消費税－消費税申告書

- ☑ [課税方式設定]で「簡易課税」を選び「常に合計欄の金額を計算式に当てはめて計算する」にチェックしなかった場合でも、付表5－(2)の「課税標準額に対する消費税額①」がマイナスだった場合は計算式に当てはめて計算するよう修正しました。

●消費税－消費税集計表

- ☑ 本支店データ(医療法人データ)の場合、[課税方式設定]で選択した支店(施設)を初期値とするよう仕様を変更しました。

●消費税－消費税申告書修正

- ☑ 修正申告書で 13の「既確定税額」がマイナス金額の場合、14の「差引納付税額」と25の「差引納付譲渡割額」を端数処理せずに足していたため、26の「消費税及び地方消費税の合計税額」に百円のずれが生じるケースがあったので修正しました。

●決算処理－繰越残高調整

- ☑ 「科目・補助設定」タブで、科目名左側のアイコンのクリックによる補助科目の表示／非表示ができなくなっていたので修正しました。

●データ通信－データ送信・データ受信

- ☑ 送信したデータの受信状況が分かるよう、データ中継サーバーに「受信日時」欄を設けました。